

三井金属鉱業株式会社 水力発電事業(金木戸第二発電所)

■事業概要

本事業は、岐阜県高山市で昭和 39 年運用開始した現在の水力発電所「金木戸第二発電所」(水路式)が、老朽化の進行により、早晚、停止せざるを得ない状況にあるため、大規模な更新工事を行い、発電した電力を全て電力会社に販売するものである。

項目	内容
利子補給対象	水力発電設備への融資
所在地	岐阜県高山市
用途地域	—
発電出力	最大 886kw、常時 367kw
工事予定期間	平成 28 年 4 月～平成 29 年 8 月
供用開始予定	平成 29 年 9 月

■立地環境

事業予定地は、岐阜県高山市上宝町金木戸にある金木戸第二発電所。発電所は双六ダム堤体の下流約 300m の山吹谷沿いにあり、取水設備は発電所の上流約 1km の山吹谷に位置している。事業予定地周辺の土地利用は大半を森林が占め、大規模林道高山・大山線沿いに住宅が点在。また、下流の双六川に沿って小規模な水田が点在するが、学校、病院、社会福祉施設は存在せず、最も近い住宅は発電所周辺では南西約 120m、取水設備周辺では東約 20m にある。

■実施した環境影響調査

高山市及び岐阜県の公表資料、環境省の自然環境保全基礎調査などの既存文献調査に加え、専門技術者による河川水質及びクマタカを含む猛禽類について現地調査を実施している。

■関係者(地域住民など)との情報交流の状況

工事内容、工事工程、事業実施に際しての環境配慮の取組内容について記載した資料(紙媒体)を事業予定地周辺に掲示し、意見を受け付けた。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画(例)

- 建設工事中の配慮：工事中における河川水質の常時監視、濁水処理施設及び pH 処理装置による工事排水の適切な処理、沈砂池の設置、猛禽類に配慮した工事などを実施する計画とする。



環境配慮に関するコメント

事業予定地周辺における河川水質やクマタカを含む猛禽類に関する現地調査を実施したうえで環境配慮の取組を計画していること、工事中における水質の常時監視や工事パトロールによる環境配慮の状況確認を実施する計画としていることは評価できる。

一方、クマタカについては、古巣の有無の確認調査を再度行うとしているが、工事実施中もクマタカのモニタリングをお願いしたい。また、クマタカの営巣が確認された場合には、適切な対応をお願いしたい。